

「江別市生涯活躍のまち形成事業計画(素案)」に対する市民意見募集の結果と市の考え方について

令和2年3月
江別市企画政策部政策推進課

■意見の募集結果

募集期間	令和2年2月21日～令和2年3月23日
提出者数	4人
提出件数	29件

■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映するもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案に反映していないが、今後の参考等とするもの
D	案に反映しないもの
E	その他の意見

※特記事項

パブリックコメントの内容については、提出者の意見をできるだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
1	1月25日の五十嵐基調講演「全ての住民に居場所と役割があるまちづくり」場と機能と仕掛けを、ここに実現させたい	当該計画は、平成29年3月に策定した江別版「生涯活躍のまち」構想に基づく生涯活躍のまち推進事業を推進するためのものであり、若年層や高齢者、障がい者、学生、子育て世代、子どもたちなど多様な主体が交流を図り、ともに支え合う「共生のまち」を目指しています。 事業の具体的な実施に当たっては、それぞれの主体の居場所、役割を得て活動ができるよう取り組んでまいります。	B
2	大麻第一地域包括支援センター職員の駐在日を設けて、介護予防や地域の総合的な相談に応じ、役割の理解と申請を円滑に進めるに寄与	介護予防の取り組みや相談機能の充実は、今後予想される高齢化への対応の中で重要な課題であることから、当該計画に基づき展開する学習活動などをおして実施するとともに、生涯活躍のまちの形成、「共生のまち」の実現に向けては、関係機関との協力が必要であることから、包括支援センター等との連携については、貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。	C
3	大麻地区は、小地域だから・ウオキングで集える・ボランティアの券がある ・特技を生きた生きがい活動が出来る・安らぐ場がある等の仕掛けを用意する	当該計画では、社会的活動の活発化を図るため、「生涯にわたる学習活動や社会的活動への参加」として様々な取り組みを考えており、今後、具体的な内容の検討に当たっては、いただいたご意見を参考に、健康づくりや趣味の活動、ボランティアができる仕組み作りを進めてまいります。	B
4	75才以上全員の調査票を作成する。(目下非該当でも老いは進む) テレビ電話機(有料リース)設置し、状況確認に供する 介護・医療の支援を充実させて、安全・安心を在宅で確保する	市民が生涯にわたって安心して暮らし続けられるまちづくりをしていくためには、高齢者などの様々な状況を把握する必要があると考えており、いただいたご意見は、今後の計画推進の参考にさせていただきます。	C
5	自治会、民生委員、支援センター等との連携を構築する	当該計画に基づく事業の実施に当たっては、生涯活躍のまちの形成、「共生のまち」を実現の実現に向けて、自治会をはじめ、様々な関係機関や団体との連携、協力しながら推進してまいります。	B
6	看取りの体制を明らかにし、その際の対処方向づけを定めてやる ・自宅でも医師との連携 ・病院等なら入所要領で安心できるように	保健医療サービス・福祉サービスの提供については、市内の医療機関との連携を図るとともに、拠点地域内の各施設の体制については、事業の実施主体である地域再生法人と協議を行い、必要なサービスや仕組みを提供してまいります。	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
7	持家の処理の助言支援(特に、相続でなく処分するとき)	当該計画では、移住に関する相談事業の実施を予定していることから、持家の処理等については、コーディネーターが各関係団体等と連携しながら相談、支援をしていく予定です。	B
8	江別市健康都市宣言の趣旨を生かした活動取組を盛込むこと	生涯活躍のまちは、アクティブシニアの方などが健康を維持し、生き生きと生活いただける地域を形成していくこととしており、健康都市宣言の趣旨である、健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざすこととも合致した取り組みであると考えております。	B
9	拠点施設、事務所の機能が小さいのではないかと。居場として、自分の思いで集える場がある(特別な行事を組まなくても自分で好みの事を見出すはず)	拠点地域は、限られた敷地面積の中で、様々な機能を整備していくこととしており、地域交流エリアについては、現状の広さの中で、入居者や地域住民の皆様にも有効に利用いただけるよう進めてまいります。	C
10	4大学の若者は、知恵袋として自由にこの構想に沿った住民向けの提案や情報発信をしてもらい、住民が教わる方法がいいのではないかと。特に、子育て中の親と子向けにもあっていい	当該計画に基づき実施する学習活動や社会活動への参加を具体的に進めるに当たっては、市内4大学との連携により進めるほか、学生などの若年層や、子育て世代、子どもたちなど、多様な主体の交流や参加のもと、推進してまいります。	B
11	道立高等養護の誘致が遅れ、現校舎等が残るのであれば、必要時返す前提で体育館、運動用具類、空地(農園用、朝市用)、図書(移動図書館開設でもいい)を借りて利用することを考えてもいいのではないかと	安全管理の面などから現存の校舎や敷地等を活用することは難しいですが、道立高等養護学校の誘致が実現した際には、学校と拠点地域との交流を積極的に進めていきたいと考えております。	C
12	ふぐの養殖施設とみやめは当然。ふぐ料理も不用でないかと(そぐわない)	当該計画においては、障がい者就労継続支援A型事業所として整備するレストランにおいて、とらふぐ料理などを提供することとしており、とらふぐをはじめとする拠点地域における各取組については、江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会で議論され、反映されたものであります。	D
13	農園は、中央玄関口に当る。景観を考えてふさわしいものに	交流農園については、入居者や近隣住民の皆様にとって利用しやすいよう配慮するとともに、拠点施設及び周辺地区の景観も考慮したものととなるよう、実施主体である地域再生法人と検討してまいります。	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
14	4番通り側に車の出入間口があるのでないか(職員、業者、除雪車の出入)	4番通り側は、パークゴルフ場の駐車場につながる出入り口となっており、現時点で出入り口を設置する予定はありません。拠点地域全体の出入り口については、安全面を考慮して、事業者において設計・配置されております。	B
15	地域で自慢の活動があるところには、必ず熱心な取組を続けた人がいます この構想にもそのような人材を見い出すことが大切です	今後生涯活躍のまちの形成、「共生のまち」の実現のためには、当該計画に基づく事業を持続的、かつ、活発に展開していくことが必要であることから、コーディネーターを中心に必要な人材の発掘にも取り組んでまいります。	C
16	構想の要点により、関係部局、機関と協議を重ねることで、現存の事業活動で生かせるものを見せるのでないか。内部に局ばかりでなく、市教育委員会、市立病院、市社会福祉協議会、商工会議所、農協、建設業協会、市民活動センター、地域包括支援センター等	当該計画に基づく事業の具体的な実施に当たっては、持続的、かつ、活発に展開していくことができるよう、市内部だけでなく、外部の各関係団体とも十分に連携を図りながら推進してまいります。	B
17	私が学生時代、社会政策の講義で学んだ事柄において、「ノーマライゼーション」という概念があります。北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会理念の一つで、「障害がある人が障害のない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指す」というものです。政府は障害者雇用促進法における、いわゆる「障害者採用」というものを一定以上の規模の組織に義務づけています。そうした取り組みからも、国の積極的な労働政策が遂行されていることがうかがえます。私のような中年世代の間も、年齢を重ね、高齢者となるころ、なんらかの障害を持ち合わせていることも予想できますから、市としても市民が生涯明るく生きていけるような政策を推進していただくことを望むばかりです。	平成29年3月に策定した江別版「生涯活躍のまち」構想では、若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」の実現を目指しており、当該計画は、この構想に基づく事業を推進するものです。 具体的な取り組みとしては、パン工房やレストラン、交流農園、介護施設における中高年齢者や障がい者の方の就労の場を提供のほか、保健・医療・福祉サービスの提供や関係機関と連携して、様々な社会参加の取り組みを行うものです。 今後、構想や当該計画に基づき、誰もが生きがいを持って安心して生活ができるよう、各事業を進めてまいります。	B
18	素案には個別の事業・取組内容等が盛り込まれ、各事業概要・具体的内容・実施主体・実施時期などが記載されている。これらの事業計画は今後の市総合計画においても、この本事業計画が計画とおり確実に実施ないし実践することで、各部・課が計画している今後の事業計画との連携にも大きく影響してくると思う。そして、一体的かつ継続的に進めていくことが、「共生のまち」の実現を目指すためにもなるので、全庁挙げて取り組んでほしい。	当該計画の推進に当たっては、市の最上位計画である総合計画に基づいた高齢者総合計画、障がい者福祉計画など各分野の個別計画との連携・整合を図ることとしており、庁内連携して事業の推進を図ってまいります。	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
19	<p>交流農園については、拠点地域内の就業の場として計画されていますが、地域住民との交流を深めるには、隣地した市民農園にも積極的に参加し、時には雄大な酪農大学に赴いて動物と触れ合うなど、郊外での活動も良いと思います。</p>	<p>交流農園については、中高年齢層や障がい者の就業の場としておりますが、市民農園等との交流については、お互いの活動の幅を広げる上での一つの方法と考えられることから、今後、拠点地域内での具体的な取り組みを検討していく際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、交流農園の運営については、酪農学園大学等との協力のもと、農福連携で実施する予定であることから、活動の協力についてもあわせて検討してまいります。</p>	C
20	<p>地域にある社会資源のうち、市内4大学の一つである北翔大学健康福祉学科が集いの場として行っている「ほく笑」を活用して、保育園児も含めた全入所者と学生との憩いの場として、多世代と交流を深めるのも良いと思います。</p>	<p>市内4大学との連携については、生涯活躍のまちの形成、「共生のまち」を実現する上で重要であると考えていることから、いただいたご意見は、今後、具体的な取り組みを検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	C
21	<p>江別市が今年度計画している「江別市介護人材養成支援事業」において、入所者など介護の仕事に関心がある方と本事業の実施主体も含めた介護事業者とのマッチングを図り、シニアや地域の主婦層(保護者)が施設内での就労拡大を図ることも可能と思われます。</p>	<p>令和2年度から実施する「介護人材養成支援事業」は、介護人材の確保と市内会議事業所への定着を図るため、資格取得支援や職場実習などによる介護人材の養成を進めようとするものです。</p> <p>当該計画では、拠点地域内における中高年齢者の就業の場の確保に取り組むこととしていることから、いただいたご意見を参考に、事業を推進し、市内の介護事業所の人材確保に努めてまいります。</p>	C
22	<p>本事業計画が行われる大麻地区は、昭和40年代に大規模な団地造成が行われ、これまで多くの地域住民が住み慣れた地域として長く居住してきました。今後も同地域で生涯にわたり安心して生活を望まれている方も多いと聞いているので、今後、住み替え・移住希望に対する相談を速やかに行えるよう、市内の不動産業者及び江別市地域おこし協力隊並びに地域包括支援センター等の協力とPRも必要と考えます。</p>	<p>移住相談については、コーディネーターを配置し、江別市地域おこし協力隊(定住相談支援員)のほか、市の関係部局、江別不動産協会(物件照会・相談等)等、関係団体等と連携して相談、対応することとしています。</p>	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
23	市民アンケートの結果と、そこから見えたものをこの素案のどこに取り込んでいるか明確にした方が、市民の理解が深まる。	市民アンケートの結果については、令和元年度第2回及び第3回江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会において、アンケート結果とその結果等の資料を提出し、協議をしていただいた結果、主に「第3章計画対象地域における事業・取組」のうち、「(1)中高年齢者や障がい者の就業、生涯にわたる学習活動への参加その他の社会的活動への参加の推進を図るために行う事業に関する事項」、「(2)中高年齢者向け住宅に関する事項」、「(6)地域住民が生涯にわたり活躍できる魅力ある地域社会の形成を図るために行う事業に関する事項」に反映しました。	E
24	この事業についての市民の認知度は高くない。計画が確定して動きがとれなくなる前に市民(特に大麻の住民)にていねいに説明し、意見を聞く必要がある。	当該計画の推進に当たっては、広く市民に周知し、多くの意見を取り入れていく必要があると考えており、当該計画に基づく事業の具体的な内容については、令和2年度に開催予定の市民説明会やワークショップなどを通じて市民の皆様にご意見を伺いながら事業を進めてまいります。	C
25	目標設定の拠点地域のボランティア人数過大でないか具体的根拠があるのか、希望的観測でいいのか疑問。	拠点地域のボランティア人数につきましては、拠点地域のオープン後において自治会、大学、商店街などと協働して行う活動を想定した中で、事業主体である地域再生推進法人とも協議の上で設定しており、目標・数値については、その実現に向けて取り組んでまいります。なお、目標値の進捗に関しては、江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会において管理してまいります。	D
26	保健医療サービス、福祉サービス、中高年齢者の移住促進コーディネーターの配置を除けば、既存の施策の利用でないか。その旨明示の方が実現性が高いものとして市民が理解できると考える。	当該計画においては、新たな取り組みやこれまでの施策の活用を通して、生涯活躍のまちを形成していくこととしており、計画や事業の実施内容については、市民にとって分かりやすいものとなるよう今後も留意してまいります。	C
27	中高年等の就業の場9ページ具体的内のようなものであれば希望者とのミスマッチ必至で効果が上らない。例示するものを広げることができないか、シルバー人材センターなどからアドバイスをもらってはいかがか。	中高年や障がい者の就業の場につきましては、計画に記載の仕事のほか、拠点地域外での仕事についても、江別ハローワークや江別市シルバー人材センター等と連携して情報提供及びマッチングできるような取り組んでまいります。	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
28	<p>概算でよいので事業費と負担区分、調達方法を示すことで、市民の納得度が上がると思う。</p> <p>また、事業の調達に、ふるさと納税、クラウドファンディングなど考えることで市の外へもアピールできるのではないか。</p>	<p>当事業の費用のうち、建物建設にかかるハード事業については、国、北海道の補助金を活用しながら事業者が負担し、開設準備やコーディネーター経費などのソフト事業については、国からの交付金を活用して市と事業者が負担しています。市が費用負担するソフト事業については、今後ふるさと納税などの活用について検討してまいります。</p>	C
29	<p>地域再生法そのもの、国の地域基本方針なるものがわかっている市民は極めて少数であるので、市民から意見を聞くためにはもっとわかりやすくていねい説明だと考える。</p>	<p>当該計画の推進に当たっては、広く市民に周知し、理解していただく必要があると考えていることから、令和2年度につきましては、市民説明会やワークショップなどを通じて、事業実施の背景なども含めて、市民の皆様に丁寧に説明し、ご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p>	C